

# 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年11月6日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東

コード番号 8154

URL https://www.taxan.co.jp (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名)門 良一

代表者 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理本部長

(氏名) 石原 康広 TEL 03-5657-0111

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算説明資料作成の有無 :有

決算説明会開催の有無 :有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

( ) / Calland ( ) / Calland						• •			H
		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	2026年3月期中間期	288, 959	11.5	13, 049	13. 5	13, 443	19. 2	15, 033	89. 3
	2025年3月期中間期	259, 064	△5.8	11, 501	△17.1	11, 278	△19.1	7, 941	△30.4

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 15,311百万円 (43.0%)

2025年3月期中間期

10,709百万円 (△36.9%)

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	293. 86	-
2025年3月期中間期	151. 15	-

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算出しております なお、「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」については潜在株式が存在しないため「一」と記載しております。

#### (2) 油丝財政壯能

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	327, 037	172, 851	50. 1
2025年3月期	305, 671	166, 379	54. 4

(参考) 自己資本

2026年3月期中間期

163,843百万円

2025年3月期

166, 218百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末 第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	(連結)		
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭	%		
2025年3月期	_	110.00	_	55. 00	_	33. 8		
2026年3月期	_	60.00						
2026年3月期(予想)				60.00	120.00	22. 9		

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

  - 2026年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当5円00銭 2026年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当5円00銭 2026年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当5円00銭 2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割を行っております。2025年3月期の 1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「一」と記載していますが、 株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の第2四半期末配当金は55円00銭となり、1株当たり年間配当金は 110円00銭となります。
- 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	595, 000	8. 6	25, 500	8. 0	25, 500	12. 9	26, 000	52. 2	524. 78	

<sup>(</sup>注) 1.直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有 2.連結業績予想の修正については、本日 (2025年11月6日) 公表しました「2026年3月期 通期業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご覧ください。

#### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:有 新規 7社 (社名) 協栄産業株式会社、他6社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ① ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 2026年3月期中間期
 52,486,836株
 2025年3月期
 57,404,236株

 ② 期末自己株式数
 2026年3月期中間期
 4,827,647株
 2025年3月期
 4,847,842株

③ 期中平均株式数(中間期) 2026年3月期中間期 51,160,138株

(注)1.当社は、2024年10月1日を効力発生日として、晋通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会割	†年度の
期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数(中間期)」を算出しております。	

2025年3月期中間期

52,544,267株

2. 当社は、2025年8月18日に自己株式を消却したため、期末発行済株式数が4,917,400株減少しております。

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料 P.5 「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料および決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年11月27日(木)に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明資料(和文、英文とも)につきましては、本日(2025年11月6日(木))、TDnetおよび当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、決算説明会の内容(プレゼンテーション動画)は、当日使用する決算説明資料とともに、2025年11月27日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です(英文動画は後日掲載予定)。

(和文) https://www.taxan.co.jp/jp/ir/event/event\_01.html

(英文) https://www.taxan.co.jp/en/ir/event/event\_01.html

# ○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 当中間期の経営成績の概況	2
	(2) 当中間期の財政状態の概況	4
	(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2.	中間連結財務諸表及び主な注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	(1) 中間連結貸借対照表	6
	(2)中間連結損益及び包括利益計算書	8
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4)中間連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
	(セグメント情報等の注記)	11
	(重要な後発事象)	12

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの業績概況につきましては、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	259, 064	288, 959	29, 894	11.5%
売上総利益	34, 133	39, 544	5, 411	15. 9%
(利益率)	13. 2%	13. 7%	0.5pt	_
販売費及び一般管理費	22, 631	26, 495	3, 863	17. 1%
営業利益	11, 501	13, 049	1, 547	13. 5%
(利益率)	4. 4%	4. 5%	0.1pt	_
経常利益	11, 278	13, 443	2, 164	19. 2%
税金等調整前中間純利益	11, 244	19, 719	8, 475	75. 4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7, 941	15, 033	7, 091	89. 3%
為替レート(期中平均)				
USドル	152円63銭	146円04銭	△6円59銭	_

売上高

電子部品事業においては、一部サプライチェーンにおける在庫調整に回復の兆しが見られ、EMS (注) ビジネスを中心に増収となりました。情報機器事業においては、パソコン製品およびセキュリティソフトの販売が好調に推移しました。その他事業においてもアミューズメント機器の販売が好調に推移しました。また、当第2四半期より協栄産業株式会社が連結子会社に加わりました。

これらの結果、前年同期比298億94百万円増収の2,889億59百万円となりました。

(注)【Electronics Manufacturing Service】電子機器の受託生産を行うサービス

売上総利益

売上増に加えて比較的採算性の高い製品の販売が好調に推移した結果、前年同期比54 億11百万円増益の395億44百万円となりました。

なお、売上総利益率は前年同期を0.5pt上回る、13.7%となりました。

営業利益

販売費及び一般管理費は売上増ならびに企業買収により増加しましたが、売上総利益の増加がこれらの費用増を上回り、前年同期比15億47百万円増益の130億49百万円となりました。

なお、営業利益率は前年同期を0.1pt上回る、4.5%となりました。

経常利益

為替差損の減少などにより営業外損益が改善し、前年同期比21億64百万円増益の134億 43百万円となりました。

税金等調整前 中間純利益 企業買収にともなう負ののれん発生益および投資有価証券売却益など特別利益の計上により、前年同期比84億75百万円増益の197億19百万円となりました。

親会社株主に帰属する 中間純利益 法人税、住民税及び事業税の計上などにより、前年同期比70億91百万円増益の150億 33百万円となりました。

このように、売上高ならびに売上総利益から親会社株主に帰属する中間純利益までの全ての段階利益において、 前年同期比「増収増益」となりました。

#### セグメント別の状況

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの業績概況につきましては、以下のとおりであります。

		前中間連結会計期間	当中間連結会計期間		
		(自2024年4月1日	(自2025年4月1日	増	減
		至2024年9月30日)	至2025年9月30日)		
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	225, 866	247, 788	21, 922	9. 7%
	セグメント利益	8, 679	8, 967	288	3. 3%
<b>桂把燃</b> 兜車業	売上高	18, 633	21, 571	2, 938	15. 8%
情報機器事業 	セグメント利益	1, 392	1, 616	224	16. 1%
ソフトナー フ市光	売上高	1, 471	1, 679	207	14. 1%
ソフトウェア事業	セグメント利益	256	165	△91	△35.6%
この 仏 車 業	売上高	13, 093	17, 919	4, 825	36.9%
その他事業 	セグメント利益	1, 094	2, 122	1, 028	94.0%
스린	売上高	259, 064	288, 959	29, 894	11.5%
合計	セグメント利益	11, 501	13, 049	1, 547	13.5%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

#### ①電子部品事業

部品販売ビジネスは、長期化が懸念されていたサプライチェーンにおける在庫調整に回復 の兆しがみられ、また、協栄産業の買収効果も加わり、増収増益となりました。

EMSビジネスは、一部顧客における需要減少もありましたが、医療機器や空調機器向け、 産業機器向けは引き続き好調に推移し、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は2,477億88百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益は89億 67百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

#### ②情報機器事業

パソコン販売ビジネスは、教育機関向けが販売数量の増加などにより好調に推移しまし た。量販店向けは、主要PCメーカーにおける商品ラインナップ拡充にWindows10サポート 終了にともなう買い替え需要の追い風も加わり、堅調に推移しました。

比較的採算性の高いセキュリティソフトの販売も好調を維持し増益に貢献しました。 これらの結果、売上高は215億71百万円(前年同期比15.8%増)、セグメント利益は16億 16百万円(前年同期比16.1%増)となりました。

③ソフトウェア事業 ゲーム向けおよびアミューズメント機器向けCG映像制作の受託拡販に取り組み、売上は回 復しました。一方、利益面では第1四半期での営業損失を解消しましたが、前年同期を下 回りました。

> これらの結果、売上高は16億79百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は1億65 百万円(前年同期比35.6%減)となりました。

# ④その他事業

前連結会計年度後半より旺盛な需要が続くアミューズメント機器販売が、国内および米国 向けに好調を維持しました。また、PC製品およびPC周辺機器のリサイクルビジネスも堅調 に推移しました。

これらの結果、売上高は179億19百万円(前年同期比36.9%増)、セグメント利益は21億 22百万円(前年同期比94.0%増)となりました。

# 〈参考〉直近3カ月の経営成績

#### ①当第2四半期連結会計期間の状況

	前第2四半期	当第2四半期		
	連結会計期間	連結会計期間	増減	
	(自2024年7月1日	(自2025年7月1日		ル
	至2024年9月30日)	至2025年9月30日)		
	百万円	百万円	百万円	
売上高	130, 426	150, 872	20, 446	15. 7%
売上総利益	17, 152	21, 104	3, 951	23. 0%
(売上総利益率)	13. 2%	14. 0%	0.8pt	_
営業利益	5, 951	6, 564	613	10.3%
(営業利益率)	4. 6%	4. 4%	△0.2pt	_
経常利益	5, 232	7, 200	1, 968	37. 6%
税金等調整前四半期純利益	5, 198	13, 307	8, 108	156.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 814	10, 419	6, 604	173. 1%

#### ②セグメント別の状況

		前第2四半期	当第2四半期		
		連結会計期間	連結会計期間	   増	i <del>ct</del>
		(自2024年7月1日	(自2025年7月1日	—————————————————————————————————————	<b>沙</b> 氏
		至2024年9月30日)	至2025年9月30日)		
		百万円	百万円	百万円	
  電子部品事業	売上高	114, 545	131, 332	16, 786	14. 7%
电丁叩叩 <del>丁米</del> 	セグメント利益	4, 348	4, 740	391	9.0%
<b>桂起继见声</b> **	売上高	8, 026	9, 454	1, 428	17. 8%
情報機器事業 	セグメント利益	753	795	42	5. 7%
ソフトウェア事業	売上高	840	1, 087	247	29. 4%
ノフトソエア争未	セグメント利益	221	207	△13	△6.1%
その他事業	売上高	7, 013	8, 997	1, 983	28. 3%
ての心事未	セグメント利益	633	760	127	20. 1%
合計	売上高	130, 426	150, 872	20, 446	15. 7%
	セグメント利益	5, 951	6, 564	613	10. 3%

<sup>(</sup>注)「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は3,270億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ213億65百万円の増加 となりました。

流動資産は2,699億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ127億75百万円の増加となりました。これは主に、 協栄産業のグループ会社化も影響し商品及び製品が133億92百万円増加したことによるものであります。

固定資産は570億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億90百万円の増加となりました。これは主に、協栄産業のグループ会社化も影響し投資有価証券が50億56百万円、有形固定資産が16億41百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は1,541億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ148億94百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が123億44百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,728億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億71百万円の増加となりました。これは主に、協栄 産業のグループ会社化などにより非支配株主持分が88億47百万円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、709億58百万円と前連結会計年度 末に比べ17億22百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、96億76百万円の収入(前年同期は149億29百万円の収入)となりました。 これは主に、税金等調整前中間純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、39億79百万円の収入(前年同期は101億74百万円の支出)となりました。 これは主に、定期預金の払戻にともなう収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、138億38百万円の支出(前年同期は38億24百万円の支出)となりました。 これは主に、自己株式の取得にともなう支出によるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付「2026年3月期 通期業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2026年3 月期連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたします。詳細につきましては、同資料をご参照ください。

#### 業績予想の修正について

2026年3月期 通期連結業績予想値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想(A) (2025年8月7日公表)	百万円 574, 000	百万円 24,000	百万円 23,800	百万円 24, 200	円 銭 488.45
今回修正予想(B)	595, 000	25, 500	25, 500	26, 000	524. 78
増減額(B-A)	21, 000	1, 500	1, 700	1, 800	36. 33
増減率	3. 7%	6. 3%	7. 1%	7. 4%	7. 4%
(ご参考)前期実績 <sup>(注)</sup> (2025年3月期)	547, 779	23, 601	22, 593	17, 083	325. 08

<sup>(</sup>注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。 前期実績の1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

#### 【参考:その他の関連指標の修正】

	資本効率性	株主還元				
	ROE	連結配当性向	総還元性向	DOE		
前回公表予想 (2025年8月7日公表)	14. 6%	24. 6%	83.3%	4. 2%		
今回修正予想	15. 0%	22. 9%	77.6%	3.9%		
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	10.8%	33.8%	33. 8%	4. 2%		
「中期経営計画 2027」目標 (2024年11月6日公表)	12.0%以上	30%~40%	_	4. 0%		

なお、キャッシュインをともなわない、負ののれん発生益の計上見込み額72億円を除外した実質ベースでの連結配当性向は31.6%、DOEは4.0%となります。

# 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

# (1)中間連結貸借対照表

(畄位	五上田)
(=11/	$\mathbf{H} \mathbf{J} \mathbf{H} \mathbf{J}$

		(単位:白万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80, 188	73, 217
受取手形	892	1, 017
電子記録債権	7, 155	10, 288
売掛金	106, 091	108, 116
有価証券	150	160
商品及び製品	35, 906	49, 298
仕掛品	1, 973	2, 595
原材料及び貯蔵品	13, 893	14, 573
その他	11, 148	10, 880
貸倒引当金	△236	△209
流動資産合計	257, 164	269, 939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9, 839	10, 896
機械装置及び運搬具(純額)	11, 034	10, 965
工具、器具及び備品(純額)	1, 217	1, 266
土地	5, 940	6, 120
建設仮勘定	413	837
有形固定資産合計	28, 445	30, 087
無形固定資産		
ソフトウエア	1, 694	1, 839
その他	44	40
無形固定資産合計	1, 738	1, 879
投資その他の資産		
投資有価証券	12, 556	17, 612
繰延税金資産	1, 344	1, 220
破産更生債権等	4, 815	4, 841
その他	4, 481	6, 420
貸倒引当金	△4, 873	△4, 963
投資その他の資産合計	18, 323	25, 130
固定資産合計	48, 507	57, 097
資産合計	305, 671	327, 037

		(单位:日月日/	
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	73, 340	74, 584	
短期借入金	14, 890	27, 235	
1 年内償還予定の社債	5, 000	200	
未払費用	8, 145	9, 207	
未払法人税等	4, 018	3, 812	
役員賞与引当金	428	69	
その他	11, 881	12, 348	
流動負債合計	117, 704	127, 457	
固定負債			
社債	5, 000	5, 300	
長期借入金	5, 500	8, 508	
繰延税金負債	4, 115	5, 414	
役員退職慰労引当金	99	99	
退職給付に係る負債	2, 572	2, 620	
資産除去債務	698	849	
その他	3, 601	3, 937	
固定負債合計	21, 587	26, 729	
負債合計	139, 292	154, 186	
純資産の部			
株主資本			
資本金	12, 133	12, 133	
資本剰余金	14, 885	14, 767	
利益剰余金	121, 553	123, 749	
自己株式	△5, 579	△9, 907	
株主資本合計	142, 993	140, 743	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	3, 263	4, 308	
繰延ヘッジ損益	△28	4	
為替換算調整勘定	18, 959	17, 814	
退職給付に係る調整累計額	1, 031	973	
その他の包括利益累計額合計	23, 225	23, 100	
非支配株主持分	160	9, 007	
純資産合計	166, 379	172, 851	
負債純資産合計	305, 671	327, 037	

# (2)中間連結損益及び包括利益計算書

		(十四: 口/) 1/
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	259, 064	288, 959
売上原価	224, 931	249, 414
	34, 133	39, 544
販売費及び一般管理費	22, 631	26, 495
	11, 501	13, 049
一 営業外収益	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·
受取利息	648	569
受取配当金	139	244
受取手数料	66	56
持分法による投資利益	_	55
その他	583	388
	1, 437	1, 313
営業外費用		
支払利息	403	381
持分法による投資損失	58	_
為替差損	995	319
正味貨幣持高に関する損失	138	131
その他	64	88
営業外費用合計	1, 660	919
経常利益	11, 278	13, 443
特別利益		
固定資産売却益	2	21
投資有価証券売却益	76	1, 205
段階取得に係る差益	_	466
負ののれん発生益	_	3, 800
その他	3	881
特別利益合計	82	6, 376
特別損失		
固定資産除却損	7	1
投資有価証券評価損	101	79
その他	8	18
特別損失合計          _	116	100
税金等調整前中間純利益	11, 244	19, 719
法人税、住民税及び事業税	2, 615	4, 394
法人税等調整額	879	93
法人税等合計	3, 495	4, 487
中間純利益	7, 749	15, 231
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	7, 941	15, 033
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属 する中間純損失(△)	△192	197

		(+ H : H/31 1/
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579	1, 256
繰延へッジ損益	△62	32
為替換算調整勘定	1, 689	△1,043
退職給付に係る調整額	621	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	131	△107
その他の包括利益合計	2, 960	79
中間包括利益	10, 709	15, 311
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10, 901	14, 908
非支配株主に係る中間包括利益	△192	402

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:日ガロ)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	로 2024부 3 7100 日 /	土 2020年37100日7
税金等調整前中間純利益	11, 244	19, 719
が 立 寸 調 走 削 十 间 作 利	2, 094	2, 485
のれん償却額	16	2, 400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△33
受取利息及び受取配当金	△787	△813
支払利息	403	381
持分法による投資損益(△は益)	58	△55
投資有価証券売却損益(△は益)	△72	△1, 205
投資有価証券評価損益(△は益)	101	79
段階取得に係る差損益(△は益)	<u> </u>	△466
負ののれん発生益	_	△3, 800
売上債権の増減額(△は増加)	12, 295	10, 983
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1, 952	△7, 305
未収入金の増減額(△は増加)	△931	132
前渡金の増減額(△は増加)	△71	119
仕入債務の増減額(△は減少)	△2, 626	△6, 225
未払費用の増減額(△は減少)	△683	337
未収消費税等の増減額(△は増加)	△902	1, 275
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△472	49
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1, 702	△491
その他	△833	△1,586
小計	15, 151	13, 580
	788	832
利息の支払額	△419	△391
法人税等の支払額	△590	△4, 344
営業活動によるキャッシュ・フロー	14, 929	9, 676
定期預金の預入による支出	△6, 525	△5, 833
定期預金の払戻による収入	_	11, 942
有形固定資産の取得による支出	△2, 500	△2, 034
有形固定資産の売却による収入	2	112
無形固定資産の取得による支出	△195	△187
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	_	△2, 218
投資有価証券の取得による支出	△1, 140	△838
投資有価証券の売却による収入	103	2, 989
短期貸付けによる支出	Δ0	Δ0
その他の支出	△152	△80
その他の収入	233	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10, 174	3, 979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△510	9, 171
長期借入れによる収入	_	149
長期借入金の返済による支出	_	△504
社債の償還による支出	_	△5, 100
自己株式の取得による支出	Δ1	△14, 447
配当金の支払額	△2, 885	△2, 886
その他	△426	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3, 824	Δ13, 838
現金及び現金同等物に係る換算差額	641	△1,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 571	△1,722
現金及び現金同等物の期首残高	62, 417	72, 681
現金及び現金同等物の中間期末残高	63, 989	70, 958

# (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

#### (自己株式の取得)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,917,400株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が14,447百万円増加しております。

#### (自己株式の消却)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月18日付で自己株式4,917,400株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が149百万円、利益剰余金が9,947百万円、自己株式が10,096百万円それぞれ減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において資本剰余金が14,767百万円、利益剰余金が123,749百万円、自己株式が9,907百万円となっております。

#### (セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		<b>‡</b>	<b>B告セグメン</b>	١			中間連結 損益及び包
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計	調整額 (注) 1	括利益計算 書計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	225, 866	18, 633	1, 471	13, 093	259, 064	_	259, 064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 777	4, 947	682	2, 848	10, 255	△10, 255	_
計	227, 644	23, 580	2, 154	15, 941	269, 320	△10, 255	259, 064
セグメント利益	8, 679	1, 392	256	1, 094	11, 422	78	11, 501

- (注)1. セグメント利益の調整額78百万円には、セグメント間取引消去78百万円が含まれております。
  - 2. セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		ŧ	<b>B告セグメン</b>	١			中間連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計	調整額 (注) 1	
売上高							
外部顧客への売上高	247, 788	21, 571	1, 679	17, 919	288, 959	_	288, 959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2, 121	7, 016	435	2, 542	12, 115	△12, 115	_
計	249, 910	28, 588	2, 114	20, 461	301, 074	△12, 115	288, 959
セグメント利益	8, 967	1, 616	165	2, 122	12, 873	176	13, 049

- (注) 1. セグメント利益の調整額176百万円には、セグメント間取引消去176百万円が含まれております。
  - 2. セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

# (重要な負ののれん発生益)

電子部品事業において、3,800百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは当社が2025年7月18日付で協栄産業株式会社の株式取得にともない発生したものであります。

# (重要な後発事象)

該当事項はありません。